

被処分者と家族をガッチリ守って、さらに前進する

日刊 動労千葉

81.5.26
No. 748

不当解雇者激励会、盛大に開かれる

動労「本部」革マル反動分子と完全にゆ着して、動労千葉解体のためのみ千葉に赴任してきた反動首切り局長・秋山の反動的差別労務政策のもとで不当な解雇処分を受けた布施・西森・山口・水野・吉岡各執行委員とその家族を激励する会が去る五月二十二日、十六時より千葉ステーション・ビル五階ホールで開催された。

各界より、多くの激励がよせられる

激励会は、県内外の労組・政党・支援団体や各界の多くの人たちまた五名の出身支部をはじめ全支部からの多数の組合員がかけつける盛況の中で、関執行委員の司会により開始された。

最初に関川委員長より「解雇された皆さんを支えぬき、動労千葉の正しい闘いと路線を全国に拡げ勝利させていくことこそ本場の激励。各界からの激励と共感をバネに、さらに力強く前進しよう」と五執行委員と家族を激励すると共に、さらなる前進の決意を明らかにした。

なごやかな中にも、固い決意あふれる

続いて満場の拍手の中、不当処分を受けた五氏とその家族が紹介され、代表して布施副委員長よりお礼と鮮明な決意表明がなされた。(要旨)別掲)

三里塚芝山連合空港反対同盟を代表して石橋委員長代行は「私の

「確信固く、闘いの先頭に立つ」 被処分者からの決意表明



本日は大変ありがとうございました。なぜ、不当処分をうけなが



右から左へ、石橋の氏、吉岡、水野、西森、山口、組むスクラムのメンバー

全通東京空港支部の堀越氏からも各々心のこもった激励がなされた。会がなごやかに進む中、動労千葉の闘いに期待と支援をよせてこられた労働運動研究者・高島喜久男氏、ジャーナリスト・川田泰代氏、新日本文学会・石田郁夫氏からも激励と共闘のことが述べられ、また社会党千葉県本部、議員団からも小川国彦(衆)、赤桐操(参)両国會議員、秋谷昇・高橋正八郎両県議、小川義人・山野井昭三両市議、さらには長谷川杉並区議、東大演習林職組、千葉市職員組合、教職員組合、国労各分会からの参加と激励をいただいた。最後に、大量の不当処分にもめげず、意気高く三月決戦闘争を闘い、ますます強く前進している三月闘争の拠点支部として、勝浦川津田支部長、千葉転関副支部長、津田沼片岡支部長、佐倉堀口支部長、成田日暮支部長、それに乗務員分科を代表して大岩副会長より決意表明をうけたのち、被解雇者と家族を先頭に固いスクラムを組んで組合歌を力強く斉唱、関川委員長の音頭による「団結ガンパロー」をもって熱気のうちに会を終了した。

あくまでも被処分者と家族を守りぬき、千三百組合員はしっかりとスクラムを組んで、前進しよう。

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五・六(公衆)三三三(22)七二〇七